（大正十年四月二十二日 第三種郵便物認可）

昭和十五年十二月十五日　磐城毎日新聞　〔日曜日〕　第五千九百九十七號

十四日々刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月金二十五錢 □郵税金十五錢 □一部金三錢
□廣告料一行金六十錢 □雜報一行金一圓十錢
□廣告料は二行金一圓
□電話（平）七八六番 □出張口座仙台二八五五番
□振替口座東京一〇六五番
發行所 磐城毎日新聞社
印刷人 岡田弘成

勝男個展前記

高瀬勝男

これぞといふ自信を充分に含んだ譯ではないが人並に慾と云ひたいもの、折角の研究的仕事を一堂に纏めて、近頃勉强の是非を、批判してもらをうとする譯です。どうせ室に置くら次室に邪魔になつて（次の仕事では計りきれない自然の態力的計畫かなくなる）厄介も厄介、塗りつぶしてしまうのです。しやば氣と製作途上の良心（自分てはそう思つて居る）の爲催個展です。

一日のうち、或時間のもとに毎日同じ場所か、街や眺めました、林檎の實より一層變化ある街の風物が一たしたと迫るのです。ちようど日表をとる樣な慣性になつて人達が過す後三時半から、時刻は嬉引に似合わしからないときですし疲勞と倦怠、無理から此焦燥の間隙がでるときです。私はいとも期した面もちで道具を肩に土末まで忙しく出かけるのです。澄んだうれしさに滿ち足りて萎ひきつた街の帳のなかを歸るのです。そして約二ヶ月程續きました、これからもつづける積りです。

きれいな娘さんに逢ひると、よしやいだ氣持になりますが、合憎といつも駄目でして、人達がのら者扱ひ嗤ふので腐ちもうのです、でもじつとして畫筆を採つてゐる間は素晴らしいしあわせの時間です。

小閑煙草に火をつけて眼下、街は限りなく生物詩となつて居ます、高い塔のあたり西陽が美しく彩染め忽ち陰翳が深くなるとむくむくと白烟が漂れ、もう街は浮んだ幻燈になつて視野から離れてゆくのです。

潔ぎよき決判平凡の去來よといいたいよどみない變化がきのふから今日、今日より明日と不斷にして同じからざる姿です。寢ても醒ても流水をどめんと力むる人間の悧功さ加減が寫されてはあるあかね雲一片のゆうて、近頃勉强の是非を、批ゆうきのないのが惨めです。今日執着するものの卑力のABCをならべる故、私一顆の親類を加へてほしい。

於て溶解するものなのだが藝術することはむづかしい資質だとか才能だとか、大切な仕事の役だが獻智する科學に於て世紀の器に盛る確實な自信がどれだけあるか餘りにもあまりにも微弱な獨りよがりでなからうか何にしても近頃勉强ぶりの一顆の親類を加へてほしい。

連續講談　異說赤穗浪士

別題『異說赤穗義士』『赤穗誠忠傳』

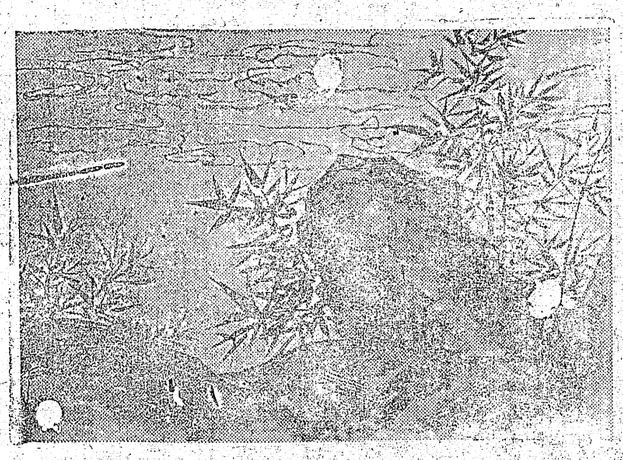
〔81〕

畫城　桃川若燕

赤埴との酒戰

『イヤ一通り御尤も、併し町家に住居をいたすと、武家に身を寄せるとは其處に大きな違ひがある、町家を引拂つて武家の許へ住居をいたすは、暗きを出で、明るきに就き、濁を出で、清きに就くと云ふに當ります早々浪宅を引拂つて當家へお出であれ、茲には先祖代々の忠義の心が殘つてゐるまた健氣なもの、がその邊に幾らか轉がつてゐる、早々當家にお出で遊ばせ、聞きなれば御酒がお好きの由當家では御酒に不自由はおさせ申さない、何んと當家へお出でなさらんか』

『イヤ誠に千萬忝ない、次第に依らば隨分御厄介に罷り越す、併し念のためにお斷り申置きまするが、拙者は決して二君には仕へぬ、又他の苗字を繼ぐなどは決して致さん心底、その邊はお斷り申します』



『イヤ誰も貴方を御推挙致すとは云はん、又我々の事は知らず今日では當家の養子に貴方を致すとも云はぬとも角善は急げと云ひますから、今から當家にお出でなさい』

『それはどうも、些と性急で、手前にもいろ／＼考へがござる、御厚情は忝けないが――』

『イヤ中山氏母が申された通り決してお構ひなさん、家内の者同樣にお扱ひをいたす、其許當家へお出でになれば和漢今昔の武道の話は拙者仕る。又其許嗜みの儀は拙者承はる、双方の利益、どうか手前方へ是非お出でを願ひた』

『誠は忝けないが拙者願るの大酒で――』

『イヤそれが結構、では何日から――』

『祖父の百ケ日が相濟んで後――』

『イヤそれでは遲い明日にも――それから今日は間もなく武林が參る故、サ、一献――』

と差出して元より好きな酒の事盃を重ねる内に大醉して寢てしまふ。

ところへ、武林唯七がやつて來た。

『オウ武林大分遲いな』

『イヤ突然國表から赤埴が參つたので、つい／＼遲れてしまつた、ときに中山は如何した』

『實は斯々、母に覺されが間もなく大醉して寢てしまつた』

『相變らずだな』

『ところで何んとか安兵衛殿を養子にしたいが、何かよい智惠はあるまいか』

『ウームそれは却々六ケしい、何しろ安兵衛は氣性が勝つてゐるので、餘程の事でなければウンと云はぬ――オ、イヤ、ところに氣がついた赤埴と仕官を賭酒戰をいたさせたらどうだ、その筋書は斯樣々々』

武林が堀部彌兵衛の耳に何事かささやいた。

その翌日、彌兵衛は出仕すると長矩公に中山安兵衛の事を話すと長矩公武藝を好む故、

『早速召し連れ參るやう』

『ハッ仰せにはございますが、その中山と申す者は酒好きで、酒の馳走を致すと申さねば何方へも出向きませんと云つた人物――』

長矩公笑は、

『よい／＼丁度國表より赤埴が參つて居る、彼れに相手をいたさせにらどうぢや』

『ハッ、それに就いて申上げます手前日頃から彼の胸中を試み見まするとなにも長げ、又武藝は申し上げました如き無類の遣手、彼れ如きを國當家にお召抱になりましたら如何でござりませう』

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南町（電五五番）
醫學博士酒井保

▽北京政府天津、泰皇爾島海關接收
▽日本無產、全評後――
勞農派等合法左翼陣大檢舉（昭和十二）
12月15日

その日／／
○
尺○の屈するは伸びんが爲なり　日本俚諺

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
名物 みやま羊羹（名產梨かん）
――赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土產！
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同七濱……のり羊羹
同豐間……辨天羊羹
小川郷驛前
製造販賣元 平屋賣店

平看護婦會
附屬
家政婦會員を募集
致します
電話三〇七番

登錄商標
家傳 良藥 ムテキ
ゆでくすり
一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切斷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばどく、やけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さ
製劑本舗 宮城縣 ムテキ商會
平市古館治町十番地（縣社下）
代理店 阿康藥局
電話四十四番 振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

酒トマヴイ
たてんの
桑ちやん
平市田町花ノ屋
電話三三番

桑原柔道整骨院
平市公園下　電八七四

お醬油
塩
味噌醬油
たひら正宗
醬油食品料
福島縣平市
電話（管業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎東

ヒマワリ
五十錢入 一、一〇
百錢入 二、〇〇
徳用罐 五、〇〇
特約店
平市五丁目
山野邊藥局

新秋の味覺
とんかつ專門の店
奥亞の巻を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

內臟外科
泌尿器科
北川外科
醫學士 北川芳夫
平市新川町（電四六四番）
○入院隨時

平市南町十四番地（醫學醫場ノ角）
（眼科療所 平市六丁目）
外科一般
內臟外科
性病科
肛門病科
木村外科醫院
木村淳
電話三〇九番
○入院應需

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町（電話六一三番）
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）
藤田女學校前
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三英堂 村山書店
平市中央通（驛前通）

外科 內臟外科
エックス光線科
院長 齊安徹
平市通町
入院隨意
齊藤醫院
電話四七五番

針外生徒募集
一、邦文タイプライター科
速成科の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
修業期間　四ケ月（高女卒程度）十ケ月（小高卒程度）
卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月　隨時
修業期間　本科一ケ年　速成科六ケ月
文部大臣認可
平陽女學校
（平市　電話四四五番）

內臟外科
腦脊髓病科
外科
整形外科
レントゲン科
理學療法科
醫學士 松村亨

胃腸
內科
胃腸病科
肛門病科
花柳病科
皮膚科
泌尿器病科
性病
醫學士 松村鐵郎

平市南町
電一〇七
松村醫院

鑑定項目
命運の代一ヶの節目……るかわるてん倒
体力（肉体 疾病）
活動（職業 天運）
血緣（家族運 男女緣）
（健康、不健康、相貌（病根病勢 病名）に關する一切
（適業、不適業（天運、成功、不成功 災厄）に關する一切
（父母の緣、夫婦の緣 子供の緣）有無
（氣質、相性、相剋 婚期方位に關する一切
鶴沼孝昌
平市紺屋町三六

會社名、商號、家號、會名、雅號、醫名、養子、養女、姓名、生兒名

第三種郵便物認可　昭和十五年十二月十五日　磐城毎日新聞　日曜日　第五千九百九十七號

業態世相
師走の「街を衝く」

2・600年の歳末は……師走も中頃例年なら本町通りは云ふもさらなり、場末のすみ〳〵まで大賣出しの装飾で街は彩られ、行き交ふ人の足も何となく氣忙しい暮れの風景を見せるのだが、サテ今年の暮れは……

更正か轉向か
岐路に立つ『商店界』
賣出し、初賣の聲もなし

縣當局など『賣出しは控へ目に、購買心をそしらぬやうに……』と注意を促すまでもなく、商店街の大半は如何にして店の對面を保つかに腐心せねげならぬ程品物が無く成つて居る狀態で、出來るなら飾つて置いて賣り度くないと云ふところ、派出な裝飾で人を呼ぶやうな賣出しはもう鉦太鼓で捜しても見られなくなつた、更正か？　沒落かの岐路に惱ふ商人が僅かに地區商業組合の誕生で少くても物資の流れが圓滑に進むだらうと期待をかけ暮れから正月へかけて寢喰ひしながら靜かに來年の動きを見せようとするさまが見受けられ、縣内一を誇つた平商店界昔日のおもかげもない

好況の時局産業
發展過程順調
時局重要産業の常磐炭界は規格統制、販賣系統の一元化などが幾分影響を受けて昨年暮れ頃に比較すると動きは幾分沈滯氣味だが需要期に向けて愈々好況の一路を辿り、市内の鐵工業界と共に不景氣知らずと云ふところ、銀行、郵便局などの窓口にも商店街は閉め出されて軍需産方面に占められた形である、

「時局色反映か」
「享樂方面異狀なし」
景氣と不景氣のバロメーターと云はれる花柳界方面は『畫酒禁止、營業時間短』と鹵簿を强ひられ、一般の觀測は『酷ひだらう』と云ふ邊に落ついてゐるやうだが、どうして〳〵享樂方面だけは三味や太鼓が聞けないのと幾分客觸に變化ある程度で相當繁昌してゐるらしい、眼に見えてよいのは最近の映畫館のやうである、四、五年前まで、三十錢位の木戸錢でも客の吸集に躍を痛めてゐた市内三館共五十錢の入場料でも押すな押すなの盛況振り、此處にも濃厚な時局色が反映してゐる

軍需工業發展に備へ
先進地視察
新潟縣に學ぶ處多い

本縣の鐵工機械は軍需の好況を負ふて近年著しき發達を示してゐるが當業聯合會では同業の現情勢下に於て組合の行ふべきものに下情工業に俟つこと大なるものあるに鑑み先進地の活動狀況、即ち聯合會並に所屬組合工場左記に對し淺間縣職副理事長(福島)佐藤源吉(平)坂本福太郎(郡山)三氏代表を視察に派し最近五日間に約二十ケ工場の實況を視察させた其の結果につき平市佐藤視察員の語るところでは新潟縣は一般に秀へてたるものがあり學ぶところ多かつた

他の二縣は本縣に比較し敢て遜色なしとのことである

視察地　新潟、群馬、茨城

平鐵工專務
台灣視察
來月三日神戸出帆

平鐵工機械工業組合事務理事佐藤源吉氏は台灣に於ける優良工場視察のため來る一月三日神戸出帆で渡台約二十日間の旅程をもつて同月下旬中に歸平の豫定

小名濱實科高女
新年度增學級
十六學級の新校舍建築

小名濱町學務調査委員會は昨十三日午前九時から役場に開き協議の結果、小名濱實科高女を一學級增加新學期から五十名增募し百名とすることに決定した

續いて國民學校に依る体操授業時間の增加と前記實科の教室增加に伴ふ校地の擴張を俎上に擧げ一同現第四校舍より湯本街道に至る約五千六百坪の土地買收案を可決した

終つて午前十時から引續き委員會で可決を見た土地買收の地主協議會を開き一同異議なくこれを承諾をしたので實科並に成彰女學校專用の十六教室の新校舍を新年度に實現することに決定した

四倉校增築竣成
二十三日落成式擧行

工費五萬七千四百圓を投じ本年七月初旬着工した四倉小學校增築は物資難の折柄にも拘はらず資材は僅かに天井板を他から需めただけで建築材料は全部町有林に仰ぎ町民の負擔に俟たず起工以來五ケ月余を以て竣工を告げたので愈々來る二十三日午前十時からこれが落成式を擧行する事になつた該校舍は鐵二階建十二教室で外に職員室、校長室裁縫室、作法室、宿直室等を設備し殊に一教室毎にコンクリートの防火壁を設け一朝失火の際と雖も他の教室には絶對に延燒せぬ防火設備を施すことは劃期的な設備として注目されてゐる

小名警防團で
マスク裝備
通用は會田氏の寄附

小名濱町警防團特設消防部では今度地方に魁けして防空用の防毒マスク一揃を常備することになりこの寄附を一萬圓當選の主會田亮氏に仰ぐことに確解成つた、目下數量金額は東京製造元と交渉中である

大浦村會
村民稅外決定

大浦村會は十四日午前十時より開き左の件を決定した

一、昭和十五年度村民稅賦課ノ件
一、大浦村稅外收入督促及督促手數料條例設定ノ件
一、大浦村稅獨立稅課目標札再下附手數料條例設定ノ件

市民稅賦課額
一戸平均六圓に低減

戸數割に替つて本年度から賦課される市民稅は今十四日委員會を了へ十五日は日曜日に拘らず本會議を開き決定するが平窪の一部修正で原案通過する模樣である、總額三萬五千七百圓で前年度の戸數割十三萬九千圓に比較すると約四分の一に負擔が輕減されてゐる、一戸當りの基數は市内の免除されてゐる神社、寺院、其の他の公共團体經營建物も凡てを含み一戸當り六圓平均と見て居り（但し基準を見たゞけで賦課せず）個人的には戸數割の三分の一乃至四分の一程度賦課されると豫想すれば間違ひないらしい

鳳城炭礦で
又ガス爆發
重輕傷三名出す

十三日午後五時頃石城郡山田村地内鳳城炭礦中山坑にメタン瓦斯の爆發あり作業中の坑夫内郷村渡部平治(三〇)岩手縣東磐井郡興田村佐藤菊四郎(二九)の兩名共半身に大火傷を負ひ茨城縣久慈町賀美村大森友藏(二八)は逃げ出す際土砂崩れで頭部に打撲傷を負ひ鎚町蓬來醫院並に植田病院に收容手當を加へてゐるが渡邊平二は重態である、

原因取調べ中なるも煙草火とも見られてゐる、同坑は去る十一月二十九日にも同樣坑内ガスの爆發で四名重傷一名輕傷の犧牲者を出したばかりで引きつゞき同一れ事故を起してゐる爲監督官廳から嚴重注意を促さるものと見られてゐる

十二月分木炭配給
平市内五千俵
月末に一萬俵配給の豫定

平木炭組合管内の十二月分第一回分配給數量は約七千俵と決定、この内五千俵を平市内へふり向け病院官公衙を天引今明日中に一般家庭へ配給することに成る

尙二十八、九日頃には平市内だけで一萬俵位流し込んで暮れから正月へかけて不自由をかけまいと林産物支護婦松本ヒロさんは出發に際

日赤看護婦
再出征で寄附
小名濱松本ヒロさん

再度名譽の出征をすることになつた小名濱町松の中日赤看護婦松本ヒロさんは出發に際

殉職の森巡査
警防團葬十五日執行

昨記、山林火災消火中遂に殉職した石城郡赤井村高萩駐在巡査森道康(四)さんの同村警防團葬は十五日午前九時から赤井第二小學校に於て嚴かに執行する事となつた

四倉町倍審員

四倉町の陪審員候補者は十三日抽籤を行つて左の兩氏當選

岡田七郎(新町)　石井政男(仲町)

入山の重役會
三十日本社で開く

入山炭礦の株主總會は三十日本社で開くことに決定株主配當は前期同樣八分に決る模樣である

尙山元のボーナスは株主總會と別個に二十二、三日頃になるらしい

國家總動員法の
プリント配布

國家總動員法とは何に？……小名濱町役場では十三年四月一日發布された國家總動員法規定により他人に切符を取扱ふ事の不可能のため取消す事に致しましたしかしこれなぞは當局の一考を煩はしたいと存じます。

日曜日のハイク

日曜日を利用し隣り組の子供部隊を引率、水筒に日の丸辨當と云ふ輕裝で近い、村落をハイキングしながら皇軍將兵の武運長久を祈り山間の神社に詣り落葉を拾つて焚附けの代用等に用ひるなど体育の向上と敬神の念を深めるやうに努めて居ります。

日常の生活、それは勞働であつて運動ではなく運動と勞働との動きを別にして今後此の種のハイキングを慶々實行したいと存じております。手拭、脱脂綿等の配給は廻覽板又は一戸宛毎に訪問し實際不足な家庭に配給して居ります

したがつて同一人に二度圓の配給の場合も行き渡る事もありますが、誰一人不平不足を申される方もありません。脱脂綿の如きは醫學上の見解から產婦人未婚者を優先的にして他は不足の方々に半量宛で忍んで頂き圓滑に分配して居ります。

私は常に不平不滿のあつた折りは私を一つのゴミ箱だと思つてどし〳〵捨てに來て下さい、決して外へ捨てゝ下さるな、外に捨てると色々迷惑も出來問題も出來ますからと申して居りますが、今日迄の處余り捨てにもこられずこのゴミ箱も手持ぶさたの形で不平なく行つてゐます。

お願ひ

市内の常會で他に範とすべき申合せや活動狀況等、現に實行しつゝある事柄を詳細御寄稿願ひます。

「となりぐみ係」

あの街この町
となりぐみを語る (11)
ハイクで鍛え『神社詣り』
十五丁目三組　第十群隣り組(四)

又香典にも家長婦女子の場合高低あつては如何との論しもありましたが一家の不幸や悲しみは金錢によつて代償するものでなく何人の死も死は人生の最大の悲しみにて金錢に高低を付けるの不合理を申合ひこれは其の儘になつて居ります。砂糖配給は最も良き機構と存じましたが砂糖配給

申請を怠ると
管理米に決る
呑氣な地主に役所で手を燒く

農家の籾取りは殆んど一段落を遂げた爲平市で管理米の調査を急いでゐるか小作料を貰つてゐる市内の地主二百餘名中正式に自家用米の申請書を提出して來たもの僅かに半數位に過ぎず平續きが遲れると全部管理米の決定を見るので市當局は書類の整理上困り切つてゐる、右について增田產業課長は語る

再參注意を促してゐるのだが實際に耕作してゐない地主が不成績のやうです、趣旨が徹底しないのかそれとも五、六俵位の小量だから届けなくとも自家用米と誤認してゐるのか、怠ると管理米に決められるから小作米でも地主さんは早く自家用の申請をしてほしいものです

轉向を記念し
五百圓寄附
野崎議長の美擧

市會議長野崎滿藏氏は時局を考慮し新田町で經營の藝妓置屋林屋を他へ讓渡、水商賣からサラリと足を洗つて實業方面に活動することになり、廢業に當つて左の如く各方面へ五百圓寄附した

△六十圓、第三小學校△六十圓、第二小學校△五十圓

平商友會で
恩師に謝恩
會員一圓以上據金

平商友會では十三日午後六時から母校で理事、幹事會を開き二十一年間勤續して母校を去り堀江工業會社へ入社することに成つた中村政敎諭の謝恩について協議の結果同窓會員一千二百名が各一圓以上の謝恩金を募ることになり商友會としては別二百圓の記念品を贈ることに成つた

尙父兄會側でも商友會と共同主催で二十頃送別の茶話會を開き勞を犒ふことに成つた

鉈を振つて殺人事件
實は背刀打ち
隣り組・嘩喧ナンセンス

石城郡入遠野村久保田豊三内縁の妻楠田ラク(四四)さんは常日頃隣家の佐藤武義と犬猿の不仲であつたが十二日午後二時頃些細の事から兩名口論の末取つ組合ひの喧嘩となり武義は鉈を持ち出しラクさんの頭部を刀背打ちに强打ラクさんは其の場に昏倒病院へかつぎ込み手當を加へて間もなく息を吹き返し金治二週間の打撲傷を負ふたが獲物が鉈だつた爲一時人殺しの噂で大騒ぎを演じた

磐城セメント
女工さん篤行
皇を賣つて献金

四倉町磐城セメント工業所女事務員宮本トシ子さん外十二名は晝休の時間を利用して皇を渡り賣却した金三圓六十二錢を十三日本社四倉支局へ寄託國防献金した

植田署管内
兵事主任會
功勞者二名表彰

植田署管内兵事主任會は十三日泉村役場に開催席上藤田署長は左記二氏を兵事々務功勞者として表彰した

鈴木清吾(渡邊)上遠野平八(入遠野)

弓道昇段
セメント從業員

磐城セメント四倉工業所從業員東條清高木理重の兩氏は大日本武德會より弓道昇格の辭令を受けた

二段　東條清
初段　高木理重

久の濱町葬

双葉郡久之濱町伍長富岡佐武郎君並に上等兵櫻井義家君兩勇士の町葬は十七日午後零時より小學校講堂で執行する

平市慶弔錄

【出生】△平市下平窪八木内三十五番地好間村川中子八方屋二十六番地川角喜八郎三女典子さん△平市中平窪富貴内四十七番地信夫郡渡利母場五番地福田武雄二男卓雄さん

【婚姻】水戸市西原町三千三百二十一番地高岡秀彦(五六)さんと平市田町五十五番地白土あき(五一)さん△伊達郡富田村鎚澤鎌石十四番地佐藤兼吉(三三)さんと平市長橋町七番地佐藤ヤイ子(二七)さん

舊十日曜日　新十月　壬辰　二十一　先負　十七　定　五日　虚宿日

▲一白　心靜かなれば如何なる異變も無事に濟べし▲二黑　輕卒に走るときは目上の信用を失ひ失墜す▲三碧　德を磨き行ひを正し律義一方に用づべき日▲四綠　沈みたる氣を引立て心を揃へて勵むべし▲五黃　表面美に捕はれ易し人の世話事は凶たり▲六白　訴訟爭ひ事は凶なれど地味の事には吉き日▲七赤　吉いとて調子に乘るな叶まれば泥田に陷る▲八白　邪路に迷はず口舌を戒しめ内を固くすべし▲九紫　初めをつゝしみ怠慢なければ末亦吉かるべし

天氣豫報

今晩　南東の風曇小雨模樣
明日　初め南風後北西風晴
二十八日
滿潮　前四、〇五　十一、二五　後五、五五
潮　前一、二五　後一、〇〇

附屬產院
新設
姙產婦入院隨意
產科　婦人科
木村病院
平市新川町
電話一六四番

病室增築、手術室完備
產科　婦人科
醫學博士
五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

根本產婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

皮膚、泌尿器、性病科
江尻醫院
江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番